

〈特別支援教育における通級による指導の推進〉

特別支援教育における「通級による指導」の推進 ～中・高の円滑な引き継ぎと支援の充実を目指して～

船橋市立船橋中学校

電話 047-422-8121

FAX 047-422-8122



研究のポイント

通級担当として小学校6年生から中学校3年生まで関わってきた生徒の進学先（5校）へ訪問できたことで、引き継ぎ後にどのような高校生活を送っているのか、高校側の支援体制や支援内容を検証することが出来た。また、「通級による指導」の実践例を作成し、本教室の概要と共に多くの場所で発表することで周知及び理解推進に努めることができた。

■学校の概要 <http://www.city.funabashi.lg.jp/gakkou/0002/funabashi-j/index.html>

学校教育目標

「知」…自ら学び自ら考える生徒の育成

「徳」…豊かな徳性を持ち、強い意志で正しく行動できる生徒の育成

「体」…健康で活力のある生徒の育成 本校は、船橋の中心部に位置し、古くから商人の町である船橋町と歴史ある農村である八栄や夏見が学区を構成している。県内で最も乗降数が多いJR船橋駅をはじめ、京成、東武、東葉高速などの鉄道や古くからある成田街道や国道14号線などの道路も走る交通の要所でもある。また、学区内には、市役所という行政の中核も抱える。

全校生徒数は1,061名で通常の学級30、特別支援学級2の32学級で構成されている。通級指導教室も平成18年度より設置され、本校生徒と近隣中学校の生徒が通級している。平成25年度からは、聞こえの教室（県立船橋特別支援学校サテライト教室）も開設されている。

■研究課題

引き継ぎ後の生徒の高等学校での様子、支援内容の共通理解を図る機会を設け、中・高の連携を深める。また、通級指導教室での支援内容を発信すると共に、より良い引き継ぎ方法や実践内容を研究していく。

■研究の目的と方法

【目的】 高等学校との連携を密にし、引き継ぎ後の生徒の様子や、中学校・高等学校の支援内容の共通理解を図る。

- 【方法】
- (1) 進学先に訪問し、これまでの生徒の様子や支援内容を伺う。
 - (2) 中学校・高等学校との合同研修会を開き、各学校の支援体制や支援内容の共通理解を図る。
 - (3) 通級指導教室の概要や具体的な支援内容を外部に発信する。

■研究概要

1 研究内容

(1) 引き継ぎ後の生徒の実態把握

進学先である公立高等学校（5校）に訪問し、実際に生徒の授業の様子を参観し、担任や特別支援教育コーディネーターから、これまでの様子や支援内容を直接伺うことができた。

(2) 中学校・高等学校との合同研修会

昨年度に引き続き、「中学校と高等学校との円滑な引き継ぎと支援の充実を目指して」というテーマで研修会を行った。内容は、船橋中学校通級指導教室の概要や引き継ぎ方法、船橋市立船橋高等学校の取り組みを中心に実践報告を行った。また、全体を通して、千葉県立生浜高等学校の上原先生に講話をいただいた。対象者：特別支援教育コーディネーター、学級担任等（葛南地区高等学校、千葉市及び松戸市内高等学校、葛南地区特別支援学校、船橋中学校通級指導教室通級生徒在籍校、船橋市内通級担当者、船橋市教育委員会指導主事、千葉県教育委員会指導主事）。

(3) 通級指導教室の概要・支援内容の発信

通級指導の意図・目的を含めた「通級による指導の実践例」を作成し、通級指導教室の概要と共に、外部に発信することができた。（以下詳細）

- ・ 6月1日 通級指導者等協議会 発表
- ・ 6月1日 高等学校における「通級による指導」連絡協議会への参加
- ・ 8月21日 船橋市内中学校 全校研修会 発表
- ・ 8月22日 船橋市内中学校 全校研修会 発表
- ・ 8月23日 特別支援教育推進連絡会議（葛南地区） 発表
- ・ 8月28日 鎌ヶ谷市教育委員会「特別な教育的支援研究会」発表
- ・ 9月25日 H30年度 第3回通級指導教室担当者研修会（浦安市）発表
- ・ 10月20日 「特別支援教育フォーラム2018」聖徳大学 発表
- ・ 10月30日 中学校（船橋市内）・高等学校（葛南地区）との合同研修会
- ・ 1月17日 実践研究報告会（千葉県教育委員会研究指定校）

2 研究の成果

- ・ 高等学校への訪問により、引き継ぎ後にどのような高校生活を送っているのか、高等学校側の支援体制や支援内容を検証することができた。
- ・ 中・高合同研修会において、中学校と高等学校の支援内容の共通理解を図ることができた。
- ・ 「通級による指導」の実践例を作成し、本教室の概要と共に多くの場所で発信することができた。

3 今後の課題

- ・ 継続して引き継ぎを含めて進学先に訪問し、進学先での様子や支援内容の共通理解を図る。
- ・ 通級指導教室での実践の発信（中・高合同研修会 等）
- ・ 他市の発達障害通級指導教室担当同士での情報共有